

# 第104期 中間報告書

2021年4月1日から2021年9月30日まで

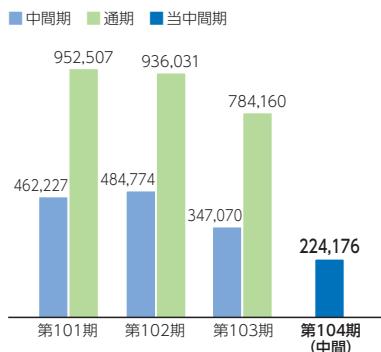
since 1946

**75<sup>th</sup>**

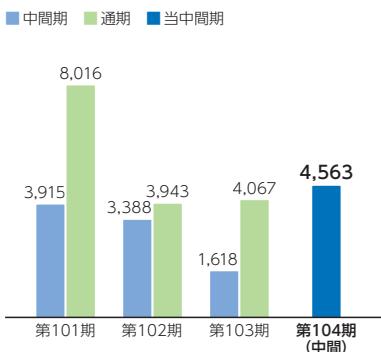
SHINSHO Corp.

# ■ 財務ハイライト (連結)

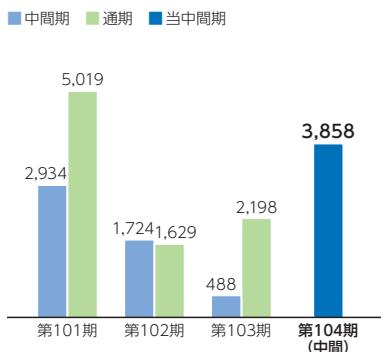
売上高 (百万円)



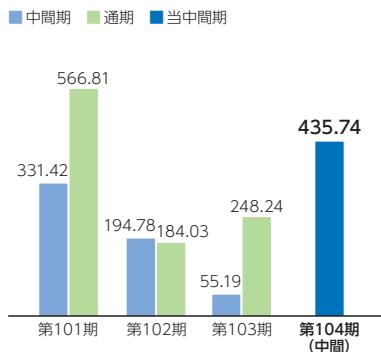
経常利益 (百万円)



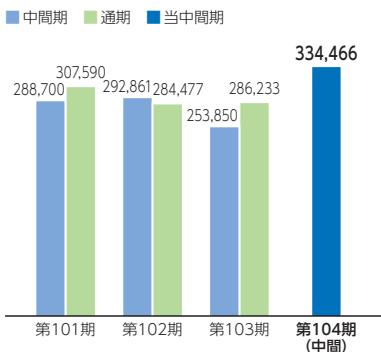
親会社株主に帰属する当期純利益 (百万円)



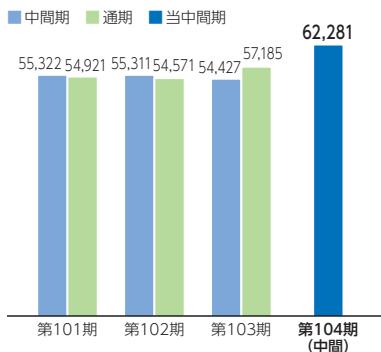
1株当たり当期純利益 (円)



総資産額 (百万円)



純資産額 (百万円)



## C O N T E N T S

財務ハイライト (連結) .....	1	業績予想/配当の状況/株式の状況 .....	8
株主の皆さまへ .....	2	トピックス .....	9
神鋼商事 75年の歩み .....	3	神鋼商事グループ海外ネットワーク .....	13
事業セグメント別の概況 .....	5	会社データ/国内事業所及び子会社 .....	14
連結決算 .....	7		

※2022年3月期の期首より「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日)等を適用するため、売上高については対前年同四半期増減率は記載しておりません。

## ■ 株主の皆さまへ

### 企業理念

私たちは誠実をモットーに、新しい価値の創造を通じて、豊かな社会づくりと、みんなの幸せをめざします。

株主の皆さまには、平素より格別のご高配を賜りありがたく厚く御礼申し上げます。

ここに、第104期中間期（2021年4月1日から2021年9月30日まで）の当社グループの現況等につき、ご報告させていただきますので、ご高覧のほどお願い申し上げます。

当第2四半期連結累計期間（2021年4月1日～2021年9月30日）における世界経済は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により厳しい状況が続きました。米国では持ち直しの動きが見られますが、中国の景気回復が鈍化してきております。わが国経済においても、企業収益を中心に回復傾向にありますが、感染症再拡大の懸念等により、先行き不透明な状況です。

このような環境の下、当社は新中期経営計画を発表しました。10年後のありたい姿「明日のものづくりを支え社会に貢献する商社」を長期経営ビジョンとし、収益力の強化、投資促進、商社機能の強化、経営基盤の強化に取り組んでおります。

米国においては線材二次加工拠点であるGrand Blanc Processing, L.L.C.並びに軸受鋼伸線加工拠点であるAikenWire Processing, L.L.C.での設備増強を決議し、より付加価値の高い製品の生産能力向上をはかってまいりました。

中国においては、半導体・FPD用イオン注入装置製造会社を買収、神商精密器材（揚州）有限公司として子会社化し、神商精密器材（蘇州）有限公司との事業連携強化を推し進めております。

当第2四半期連結累計期間における業績につきましては、売上高は2,241億76百万円（－）となり、営業利益は40億86百万円（前年同四半期比195.9%増）、経常利益は45億63百万円（同181.9%増）となりました。また、特別利益として投資有価証券売却益を77百万円、負ののれん発生益を1億83百万円計上したことなどにより、親会社株主に帰属する四半期純利益は38億58百万円（同281.9%増）となりました。

当期の中間配当金につきましては、1株あたり85円とし、お支払日を12月6日とさせていただきます。

なお、1株あたり年間配当金は170円を予定しております。

株主の皆さまにおかれましては、何とぞ今後とも変わらぬご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

2021年12月



代表取締役社長 森地 高文

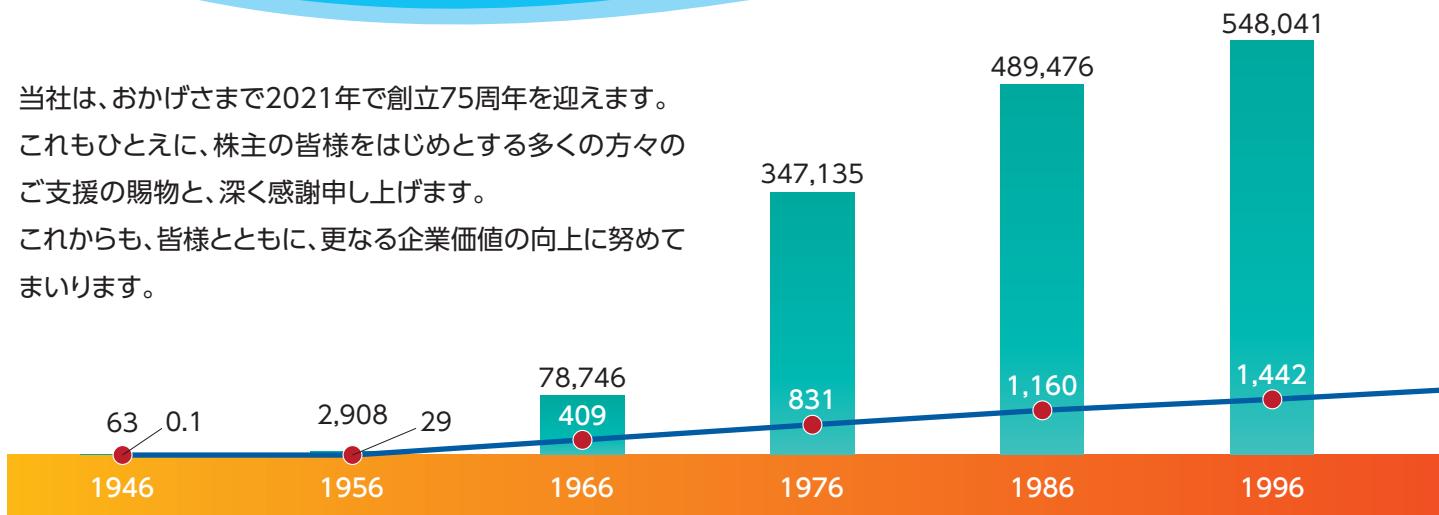
since 1946

75<sup>th</sup>

SHINSHO Corp.

# 神鋼商事75年の歩み

当社は、おかげさまで2021年で創立75周年を迎えます。  
これもひとえに、株主の皆様をはじめとする多くの方々のご支援の賜物と、深く感謝申し上げます。  
これからも、皆様とともに、更なる企業価値の向上に努めてまいります。



## 1940年代

### 1946年

戦後初のメーカー商社として「太平洋商事」の名で創業



太平洋商事本社ビル

## 1960年代

### 1960年

社名を「神鋼商事」に変更

### 1961年

現東京証券取引所第二部上場

### 1966年

神商アメリカンを設立



神商アメリカン

### 1968年

現東京証券取引所第一部上場

## 1970年代

### 1970年

アジア化工(株)の株式を50%取得

### 1977年

大阪・東京2本社制を採用

## 1980年代

### 1988年

Thai Escorp Ltd.を設立



Thai Escorp Ltd.

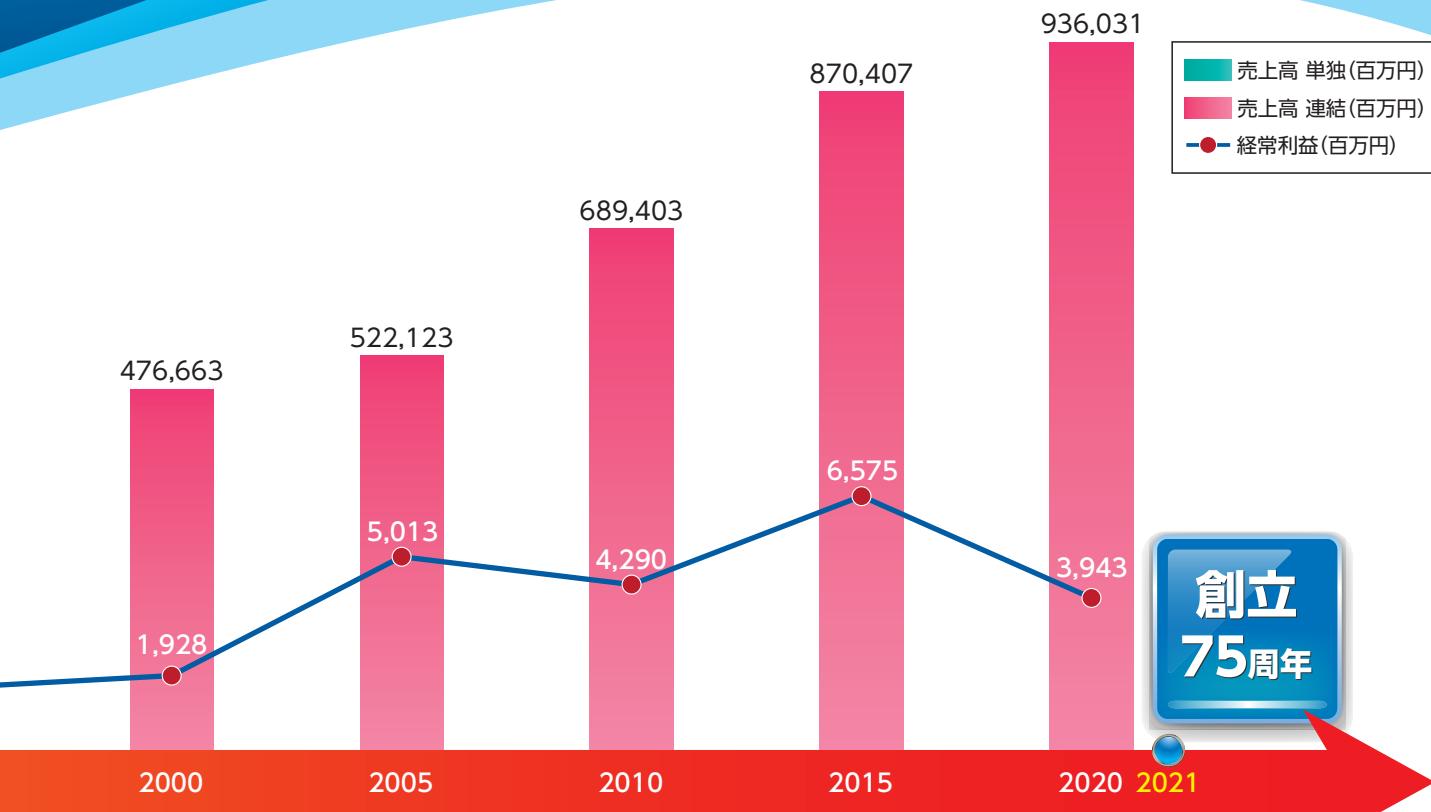
## 1990年代

### 1996年

Shinsho Australia Pty. Ltd. (現・Kobelco Trading Australia Pty. Ltd.)を設立

### 1998年

上海神商貿易有限公司を設立



### 2000年代

#### 2006年

蘇州神商金属有限公司を設立



蘇州神商金属  
有限公司

神鋼商貿(上海)有限公司を設立

#### 2009年

Shinsho Europe  
GmbHを設立



神鋼商貿(上海)  
有限公司

### 2010年代

#### 2011年

マツポー(株)の株式を100%取得

#### 2014年

コベルコ筒中トレーディング(株)(現・神鋼商事メタルズ(株))を  
子会社化

#### 2015年

KTN Co., Ltd.を子会社化

#### 2016年

エスシーウエル(株)を子会社化  
コベルコ筒中トレーディング(株)と  
中山金属(株)を合併し、  
神鋼商事メタルズ(株)に社名変更

#### 2019年

東京本社を現在の  
ミュージアムタワー京橋へ移転



新東京本社ビル

### 2020年代

#### 2021年

日新意旺高科技(揚州)  
有限公司を子会社化し、  
神商精密器材(揚州)  
有限公司に社名変更

## ■ 事業セグメント別の概況

### 鉄鋼セグメント

鋼板製品は、国内向けの取扱量が増加し、価格も上昇しました。輸出向けは、取扱量は減少しましたが、価格が上昇しました。線材製品は、国内向けの取扱量が増加し、価格も上昇しました。輸出向けは、取扱量が増加し、価格も上昇しました。

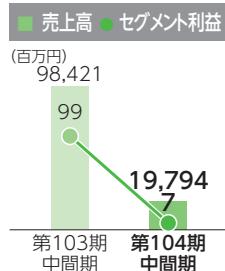
この結果、売上高は901億43百万円となり、セグメント利益は24億67百万円（前年同四半期比474.9%増）となりました。



### 鉄鋼原料セグメント

輸入鉄鋼原料は、取扱量が増加し、価格も上昇しました。冷鉄源は、取扱量が減少しましたが、価格は上昇しました。

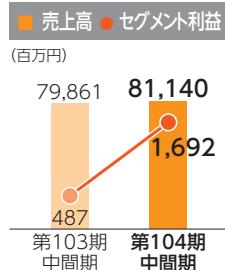
この結果、売上高は197億94百万円となりましたが、海外子会社の収益悪化等により、セグメント利益は7百万円（前年同四半期比92.9%減）となりました。



### 非鉄金属セグメント

銅製品は、端子コネクター向け板条及び空調向け銅管の取扱量が増加しました。アルミ製品は、自動車向け押出材・板状・加工品及び空調フィン向けアルミ板の取扱量が増加しました。非鉄原料は、アルミスクラップ、銅スクラップの取扱量が増加しました。

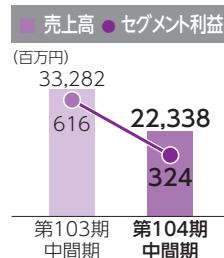
この結果、売上高は811億40百万円となり、セグメント利益は16億92百万円（前年同四半期比247.5%増）となりました。



## 機械・情報セグメント

機械製品は、電池材料や建設機械部品の取扱いは増加しましたが、圧延設備や大型圧縮機、真空成膜装置の取扱いが減少しました。情報関連商品は、PC向け部品の取扱いが増加しましたが、半導体関連装置の取扱いが減少しました。

この結果、売上高は223億38百万円となり、連結子会社の取扱い減少により、セグメント利益は3億24百万円（前年同四半期比47.4%減）となりました。



## 溶材セグメント

溶接材料の取扱量は、自動車・建設機械向けが増加しましたが、化工機・造船向け、輸出関連が減少しました。溶接関連機器は、鉄骨溶接ロボットの取扱いが減少しました。生産材料は、国内は溶剤原料・鋼材の取扱量が減少しましたが、海外は溶剤原料及びチタン原料の取扱量が増加しました。

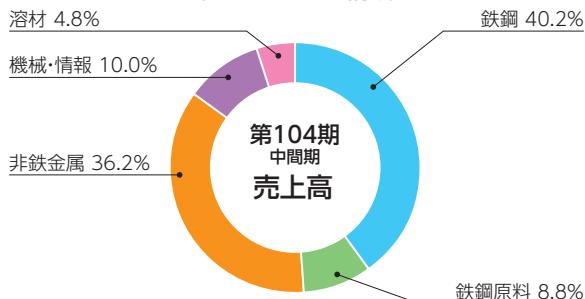
この結果、売上高は106億91百万円となり、セグメント利益は1億7百万円（前年同四半期比245.3%増）となりました。



### 連結セグメント構成

セグメント		(百万円)	
セグメント	売上高	セグメント利益	
鉄 鋼	90,143	2,467	
鉄 鋼 原 料	19,794	7	
非 鉄 金 属	81,140	1,692	
機 械 ・ 情 報	22,338	324	
溶 材	10,691	107	
そ の 他	67	△34	
(消去または全社)	—	—	
合 計	224,176	4,563	

### 連結セグメント構成比



※上記連結セグメント構成比には、報告セグメントに属さないその他の売上高及び内部取引消去額を含んでおりません。

## ■ 連結決算

### ■ 四半期貸借対照表 (要旨)

(単位：百万円)

科目	第103期 2021年3月31日現在	第104期中間期 2021年9月30日現在
<b>資産の部</b>		
流動資産	240,123	286,669
固定資産	46,109	47,797
有形固定資産	7,259	7,712
無形固定資産	1,567	1,576
投資その他の資産	37,282	38,509
資産合計	286,233	334,466
<b>負債の部</b>		
流動負債	202,286	247,885
固定負債	26,761	24,299
負債合計	229,048	272,185
<b>純資産の部</b>		
株主資本	52,785	56,334
資本金	5,650	5,650
資本剰余金	2,608	2,608
利益剰余金	44,544	48,093
自己株式	△17	△17
その他の包括利益累計額	2,959	4,169
非支配株主持分	1,440	1,777
純資産合計	57,185	62,281
負債純資産合計	286,233	334,466

(百万円未満切捨て)

### ■ 四半期損益計算書 (要旨)

(単位：百万円)

科目	第103期中間期 2020年4月1日~2020年9月30日	第104期中間期 2021年4月1日~2021年9月30日
売上高	347,070	224,176
売上原価	335,044	208,375
売上総利益	12,026	15,801
販売費及び一般管理費	10,645	11,715
営業利益	1,380	4,086
営業外収益	1,082	1,338
営業外費用	844	861
経常利益	1,618	4,563
特別利益	—	260
特別損失	472	93
税金等調整前四半期純利益	1,146	4,730
法人税、住民税及び事業税	685	1,412
法人税等調整額	△60	△829
四半期純利益	521	4,146
非支配株主に帰属する四半期純利益	32	288
親会社株主に帰属する四半期純利益	488	3,858

(百万円未満切捨て)

### ■ 四半期キャッシュ・フロー計算書 (要旨)

(単位：百万円)

科目	第103期中間期 2020年4月1日~2020年9月30日	第104期中間期 2021年4月1日~2021年9月30日
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,481	△10,210
投資活動によるキャッシュ・フロー	△650	136
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,394	9,317
現金及び現金同等物に係る換算差額	△227	332
現金及び現金同等物の増減額	3,997	△423
現金及び現金同等物の期首残高	16,602	22,432
現金及び現金同等物の四半期末残高	20,600	22,008

(百万円未満切捨て)

# 業績予想・配当の状況・株式の状況

## 2022年3月期の連結業績予想

2021年4月1日～2022年3月31日

	前期実績	今期予想	対前期増減率
売上高	784,160百万円	459,000百万円	—%
営業利益	4,454百万円	8,600百万円	93.1%
経常利益	4,067百万円	8,200百万円	101.6%
親会社株主に帰属する当期純利益	2,198百万円	6,400百万円	191.2%
※1株当たり当期純利益	248.24円	722.77円	191.2%

※上記の今期予想は2021年10月29日開示の予想数値であり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

## 配当の状況

	1株当たり配当金 (円)			配当金総額 (年間) (百万円)	配当性向 (連結) (%)	純資産 配当率 (年間) (%)
	中間期末	期末	年間			
2022年3月期	85.00	85.00 (予想)	170.00 (予想)	—	—	—
2021年3月期	15.00	35.00	50.00	442	20.1	0.8
2020年3月期	55.00	35.00	90.00	797	48.9	1.5
2019年3月期	55.00	55.00	110.00	974	19.4	1.9

## 株式の状況

発行可能株式総数 27,000,000株

発行済株式の総数 8,855,785株  
(自己株式4,777株を除く)

株主数 3,549名  
(前事業年度末比113名増)

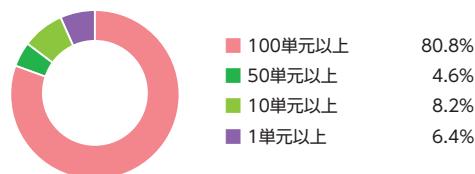
### 大株主 (上位10名)

株主名	持株数 (株)	持株比率 (%)
みずほ信託銀行株式会社 (退職給付信託神戸製鋼所口)	1,906,200	21.52
株式会社神戸製鋼所	1,179,118	13.31
神商取引先持株会	783,348	8.85
日本マスタートラスト 信託銀行株式会社 (信託口)	526,800	5.95
SSBTC CLIENT OMNIBUS ACCOUNT	274,550	3.10
神鋼商事従業員持株会	243,522	2.75
株式会社日本カストディ銀行 (信託口)	197,900	2.23
シンフォニアテクノロジー株式会社	150,000	1.69
株式会社三菱UFJ銀行	109,280	1.23
DFA INTL SMALL CAP VALUE PORTOFOLIO	105,499	1.19

## 所有者別株式分布状況



## 所有株数別株式分布状況



## TOPICS 1 新中期経営計画発表

当社は新中期経営計画を5月20日に発表しました。10年後のありたい姿「明日のものづくりを支え社会に貢献する商社」を長期経営ビジョンとし、収益力の強化、投資促進、商社機能の強化、経営基盤の強化に取り組んでおります。

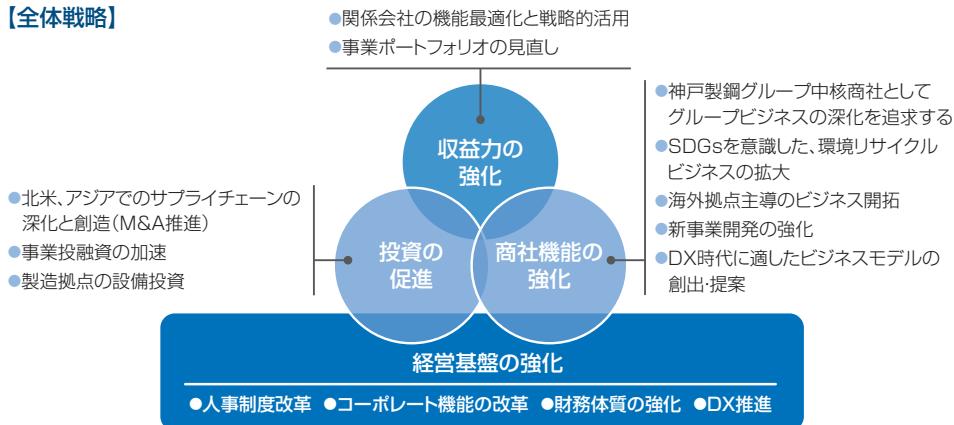
「EV・自動車軽量化」「資源循環型ビジネス」を重点分野と位置付け、ポストコロナの時代も見据えて事業ポートフォリオを組み換え、持続的成長軌道を描いていき、2023年度には経常利益95億円以上、ROE9%以上を目指します。

また、株主様への還元として、連結配当性向の目標を30%とし、安定した配当を目指してまいります。

詳細につきましては当社HPにございますので、以下のURLにアクセスしご覧ください。

<http://www.shinsho.co.jp/ir/>

### 【全体戦略】



### 【前中計平均】

経常利益	60 億円
ROE	7%



### 【2023年度目標】

経常利益	95 億円以上
ROE	9%以上

### 【当期純利益と1株あたり配当額の実績と計画】



### TOPICS 2 北米子会社設備増強

当社は北米の線材二次加工拠点である Grand Blanc Processing, L.L.C. では、約500万ドルを投資し、熱処理能力を1割増強する方針を決議しました。

また、軸受鋼伸線加工拠点である Aiken Wire Processing, L.L.C. では、約50万ドルを投資し、伸線ラインの能力を1.5倍に拡大する方針を決議しました。

どちらも、好調に推移している北米の自動車生産において、日系及びローカル自動車部品向けに供給する製品の質・量を拡充する狙いとなっております。

サプライチェーンを強化し、現地需要家のニーズに応えることで、線材加工事業の収益を伸ばしてまいります。



Aiken Wire Processing, L.L.C.



Grand Blanc Processing, L.L.C.

## TOPICS 3 神商精密器材（揚州）有限公司を設立

当社は、中国にて、半導体・FPD（フラッシュパネルディスプレイ）用イオン注入装置製造会社を買収、神商精密器材（揚州）有限公司として子会社化しました。

これにより、中国における真空装置組み立てインフラ及び施工請負機能を有することとなります。今後は、真空チャンバー加工を手掛けている神商精密器材（蘇州）有限公司との事業連携を強化し、材料調達から装置の据付けまでの一貫したサービスを提供することで、当社グループの企業価値の更なる向上を目指してまいります。



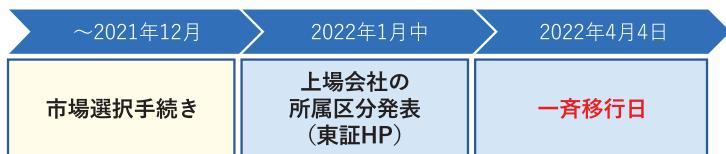
装置の組み立てを行うクリーンルーム

## TOPICS 4 東証プライム市場移行の決議

当社は、2021年7月9日付で株式会社東京証券取引所より「新市場区分における上場維持基準への適合状況に関する一次判定結果について」を受領し、プライム市場への上場維持基準に適合していることを確認いたしました。

この結果を受け、10月29日開催の当社取締役会において、株式会社東京証券取引所の新市場区分における「プライム市場」を選択することを決議いたしました。

今後は、株式会社東京証券取引所が定めるスケジュールに基づき、新市場区分の選択申請にかかる所定の手続きを進めてまいります。



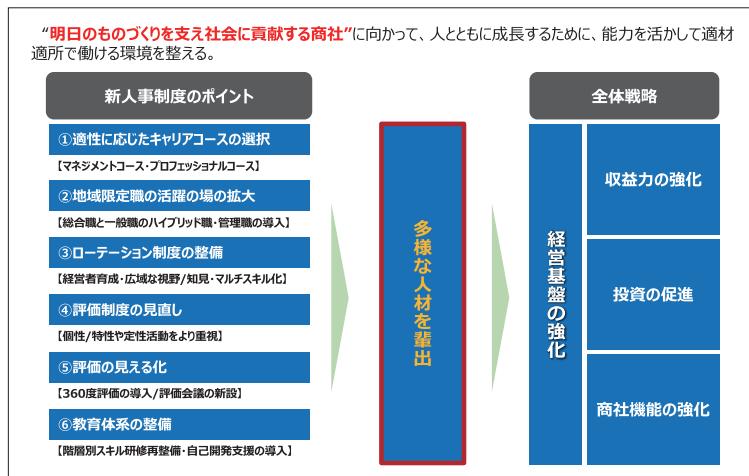
今後の移行スケジュール

プライム市場維持基準		適合判定
株主数	800人以上	○
流通株式数	20,000単位以上	○
流通株式時価総額	100億円以上	○
流通株式比率	35%以上	○
売買代金	平均売買代金 0.2億円/日以上	○

東証の判定基準適合否表

## TOPICS 5 新人事制度の策定

当社は新人事制度を策定し、2022年4月より運用を行う予定となっております。これは、経営環境が大きく変化する中、今中期経営計画の事業戦略を推進し、長期ビジョンを実現するには、社員が高い意欲を持ち続け、能力をフルに発揮できる環境を整える必要があるためです。キャリアルートの多様化、事業部間の人事異動の促進、地域限定職の新設などを柱としてプロフェッショナルを育成し、社員が能力を活かして適材適所で働ける環境を整えてまいります。



新人事制度の概要

## TOPICS 6 ヴァーチャル株主総会の実施

6月25日（金）に行われました株主総会は、新型コロナウイルス感染症対策、遠方の株主様への配慮等の観点から、ヴァーチャル総会の形で実施いたしました。今回は、決議は事前に投票いただき、当日は映像を視聴するのみの「参加型ヴァーチャル総会」という形で実施しており、議長席に飛沫感染防止用のアクリルパネルを設置するなど、感染対策も徹底しました。今後も株主様の安全と参加のしやすさを第一に総会運営を行ってまいります。



(ご参考)

# 神鋼商事グループ海外ネットワーク (2021年9月30日現在)

## GERMANY

- Shinsho Europe [デュッセルドルフ]

## INDIA

- Kobelco Trading India [ハリヤーナー本社]
- Kobelco Plate Processing India [チェンナイ] (厚鋼板加工、販売)

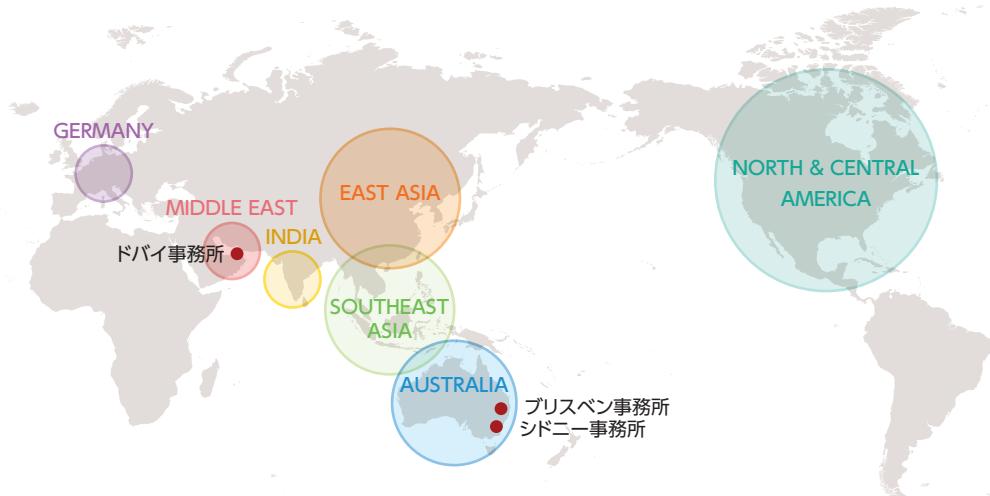
## AUSTRALIA

- Kobelco Trading Australia (炭鉱権益への投資)

## NORTH & CENTRAL AMERICA

- Shinsho American [デトロイト本社、サウスカロライナ支店、ロサンゼルス支店]
- Aiken Wire Processing (軸受鋼の伸線加工)
- Grand Blanc Processing (線材二次加工)
- Shinsho-Meihoku Wire (倉庫業)
- Shinsho Mexico
- Kobelco CH Wire Mexicana (冷間圧造用鋼線(CHワイヤー)の製造、販売)
- SC Tech de Mexico (溶接機器の製造、販売)
- Shinsho K'mac Precision Parts (自動車部品販売)
- Dexter Fastener Technologies (自動車用ファスナー製造、販売)
- Aiken Precision Technologies (冷圧部品製造、販売)

- 海外事業所
- 主要子会社
- 主要関連会社



## EAST ASIA

- 神鋼商貿(上海) [本社、北京支店、広州支店、成都支店、天津事務所、大連事務所、武漢事務所]
- 神商精密器材(蘇州) (アルミ搬送部品等の精密加工)
- 蘇州神商金属 (アルミ材加工、販売) [天津事務所、瀋陽事務所]
- 神商大阪精工(南通) (自動車部品製造、販売)
- 上海神商貿易
- 炫馥金属国際貿易(上海)
- 台湾神商 [台北本社、新竹事務所、桃園事務所]
- KTN [ソウル郊外] (アルミ板の切断加工、卸売事業)
- 韓国神商 [ソウル郊外]
- 神鋼特殊鋼線(平湖) (線材二次加工)
- VSC Shinsho (広州神昌金属製品) (鋼板コイルセンター)
- Allmet [ソウル郊外] (チタン他製品加工、販売)

## SOUTHEAST ASIA

- Shinsho (Philippines) [マニラ]
- Kobelco Trading Vietnam [ホーチミン本社、ハノイ事務所]
- Shinko Shoji Singapore
- Thai Escorp [バンコク本社、ポーウィン支店、アユタヤ支店、アマタナコーン支店]
- Kobelco Trading Indonesia [ジャカルタ]
- TES E&M Service [バンコク] (メンテナンスサービス業)
- Shinsho (Malaysia) [クアラルンプール本社、ペナン事務所]
- SHINSHO METALS (Thailand) Limited [バンコク]
- SHINSHO METALS INDONESIA [ジャカルタ]
- Ondo Shinsho (Thailand) (輸送機器用トランスミッション部品の製造、販売)
- Vina Washin Aluminum (アルミ管・棒・型材及び加工品の製造、販売)
- Naito Asia [クアラルンプール] (有機感光体用アルミドラム基材の製造)

## ■ 会社データ (2021年9月30日現在)

### ■ 会社概要

設立	1946年11月12日
発行済株式総数	8,860,562株
資本金	5,650,281,250円
主要取扱品目	鉄鋼、鉄鋼原料、非鉄金属、機械、 情報産業関連商品、溶材

### ■ 役員

取締役及び監査役	代表取締役社長	森地 高文
	代表取締役	加藤 宏
	代表取締役	向井 恭也
	取締役	渡部 泰幸
	取締役	小宮山 司
	取締役	阪本 清
	監査役(常勤)	前田 芳宏
	監査役(常勤)	市川 明
	監査役	金子 浩子
	監査役	宮脇 新也

執行役員	※社長	森地 高文
	※専務執行役員	加藤 宏
	※専務執行役員	向井 恭也
	専務執行役員	牟田 智
	常務執行役員	足達 雅人
	常務執行役員	西村 悟
	常務執行役員	松林 正人
	常務執行役員	吉田 真也
	※常務執行役員	渡部 泰幸
	執行役員	田中 浩司
	執行役員	高田 雅章
	執行役員	浦出 信次
	執行役員	岡本 佳久
	執行役員	有園 博行
	執行役員	高下 拡張

(注)1 小宮山 司及び阪本 清の両氏は、会社法第2条第15号に定める社外取締役であり、株式会社東京証券取引所に独立役員として届出ております。

(注)2 金子 浩子及び宮脇 新也の両氏は、会社法第2条第16号に定める社外監査役であります。

(注)3 執行役員のうち、上記※印の各氏は取締役を兼務しております。

## ■ 国内事業所 及び 子会社

### 事業所

大阪本社	大阪市中央区北浜二丁目6番18号
東京本社	東京都中央区京橋一丁目7番2号
名古屋支社	名古屋市中村区名駅三丁目28番12号
神戸支社	神戸市中央区脇浜海岸通二丁目2番4号
九州支社	福岡市博多区博多駅中央街1番1号
支店	中国(広島)、加古川、静岡、北陸(富山)、札幌
出張所	徳山、岐阜

### 子会社

神商鉄鋼販売株式会社	大阪市中央区北浜二丁目6番18号
森本興産株式会社	大阪市西区新町一丁目11番21号
神商非鉄株式会社	大阪市中央区北浜二丁目6番18号
神鋼商事メタルズ株式会社	東京都目黒区下目黒二丁目1番14号
株式会社マツポー	東京都港区虎ノ門三丁目8番21号 虎ノ門33森ビル4F
アジア化工株式会社	大阪市中央区伏見町三丁目2番4号 淀屋橋戸田ビル
エスシーウエル株式会社	大阪市淀川区西中島四丁目6番17号
神商ビジネスサポート株式会社	大阪市中央区北浜二丁目6番18号

## 株主メモ

事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで

期末配当金受領  
株主確定日 3月31日

中間配当金受領  
株主確定日 9月30日

定時株主総会 毎年6月

株主名簿管理人  
特別口座の口座管理機関 三菱UFJ信託銀行株式会社

同連絡先  
(お問合わせ先) 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部  
東京都府中市日鋼町1-1  
郵送先 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号  
TEL 0120-232-711 (通話料無料)

上場証券取引所 東京証券取引所

公告方法 電子公告により行う  
公告掲載URL <http://www.shinsho.co.jp/>  
(ただし、電子公告によることができない事故、その他のやむを得ない事由が生じた時には、日本経済新聞に掲載いたします。)

### (ご注意)

1. 株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行）ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
2. 特別口座に登録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関（三菱UFJ信託銀行）にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。
3. 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

最新の当社IR情報等をご覧ください。



▶ 神鋼商事ホームページ

<http://www.shinsho.co.jp/>



〒541-8557 大阪市中央区北浜二丁目6番18号  
電話 06-6206-7010 (代表)  
<http://www.shinsho.co.jp/>



見やすく読みまちがえにくい  
ユニバーサルデザインフォント  
を採用しています。